

第 1 回広島県自立支援協議会相談支援・研修部会 [R5. 11. 16]
における主な意見

| 項番 | 意見 |
|----|--|
| 1 | 今回の見直しのメリットとして県職員の業務負担軽減が挙げられているが、過去と比べると研修への県職員のコミットが弱まっていると感じる。業務負担を軽減した分県職員は何をするのか。 |
| 2 | ファシリテーターや講師の水準を県が定めるとしているが、現場の状況を把握できていない県で水準を定めることができるのか。 |
| 3 | 相談支援アドバイザーの役割の変更について、現在は市町の依頼を基に派遣する状況であり、ここ数年このスキームは変わっていないが、来年度から市町への支援に特化できるのか。 |
| 4 | 提案内容はよいと思うが、本当に実現できるのか。資料の内容を実行するには、受託事業者に相談支援に関する相当の知識や力量がないとできないと考える。 |
| 5 | 県の研修として、広島の現状や目指すところを講義に取り入れ、特色を出して実施しているので、これまでの積み上げが一切なかったことにならないよう、この点を担保してほしい。 |
| 6 | 研修講師等について、新任者とベテランでは力量が大きく異なるため、ベテランの方のサポートを受けつつ新任者が参加できるような配慮が必要。 |